

# バルーンフェスティバル

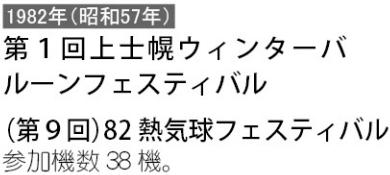
## 40年の足跡



1980年(昭和55年)  
(第7回)80熱気球フェスティバル  
参加機数35機。地元からアースウイング号が初参加。



1981年(昭和56年)  
(第8回)81熱気球フェスティバル  
参加機数37機。



1982年(昭和57年)  
第1回上士幌ウィンターバルーンフェスティバル

(第9回)82熱気球フェスティバル  
参加機数38機。



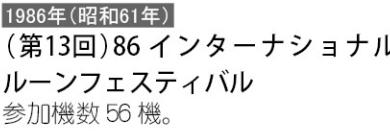
1983年(昭和58年)  
(第10回)83熱気球フェスティバル  
3とんでもるカントリー建国フェスティバル  
第10回記念大会として「とんでもるカントリー」を開催し有名タレントが来町。参加機数は39機を数え、町民はお祭り騒ぎの4日間を過ごすこととなった。



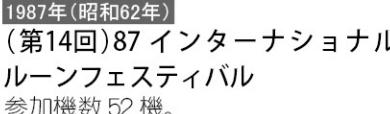
1984年(昭和59年)  
(第11回)84熱気球フェスティバル  
参加機数45機。



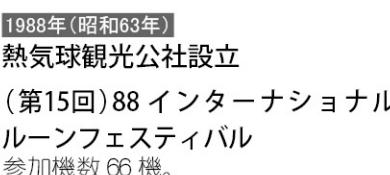
1985年(昭和60年)  
(第12回)85熱気球フェスティバル  
参加機数47機。



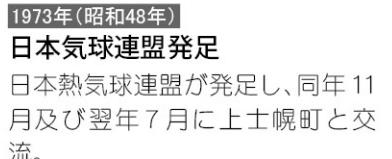
1986年(昭和61年)  
(第13回)86インターナショナルバルーンフェスティバル  
参加機数56機。



1987年(昭和62年)  
(第14回)87インターナショナルバルーンフェスティバル  
参加機数52機。



1988年(昭和63年)  
熱気球観光公社設立  
(第15回)88インターナショナルバルーンフェスティバル  
参加機数66機。



1973年(昭和48年)  
日本気球連盟発足  
日本熱気球連盟が発足し、同年11月及び翌年7月に上士幌町と交流。



1974年(昭和49年)  
(第1回)74熱気球フェスティバル  
日本初の熱気球イベントとして開催され、5機の熱気球が参加。大空を風まかせに遊泳するカラフルな気球に住民は魅了された。(写真は左から「ティンカーベルIII」「風」「アセンションII」「龍馬」)



1975年(昭和50年)  
(第2回)75熱気球フェスティバル  
参加機数6機。



1976年(昭和51年)  
(第3回)76熱気球フェスティバル  
14機が参加し、日本初の熱気球による競技会が行われた。



1977年(昭和52年)  
(第4回)77熱気球フェスティバル  
参加機数16機。



1978年(昭和53年)  
(第5回)78熱気球フェスティバル  
参加機数25機。この頃には町挙げての大イベントとなり、歓迎パレードも行なった。



1979年(昭和54年)  
(第6回)79熱気球フェスティバル  
参加機数32機。

1974年に第1回熱気球フェスティバルが開催されて、今年で40年。町で所有している過去の写真を掘り起こし、この40年の足跡を改めて辿つてみた。

**2004年(平成16年)**  
第31回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 42機。

**2005年(平成17年)**  
第32回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 33機。

**2006年(平成18年)**  
第33回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 32機。

**2007年(平成19年)**  
第34回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 39機。

**2008年(平成20年)**  
第35回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 36機。

**2009年(平成21年)**  
第36回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 36機。

**2010年(平成22年)**  
第37回北海道バルーンフェスティバル  
(中止)  
同時に宮崎県で発生した口蹄疫の影響を鑑み、大会を自粛するという苦渋の決断となった。

**2011年(平成23年)**  
第38回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 27機。新オフィシャルバルーン「上士幌Ⅲ号」とゆるキャラ「ほろんちゃん」がデビューした。

**2012年(平成24年)**  
第39回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 31機。

**第40回北海道バルーンフェスティバル会場にて  
バルーンポスター展を開催!  
40年の歴史を感じさせる  
ポスターの数々をぜひ  
ご覧ください。**

**1996年(平成8年)**  
第23回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 76機。上士幌号が最後のフライトとなり、「上士幌Ⅱ号」に更新された。

**1997年(平成9年)**  
第24回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 84機。

**1998年(平成10年)**  
第25回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 48機。

**1999年(平成11年)**  
第26回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 54機。

**2000年(平成12年)**  
第27回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 52機。ハイスクールⅡ号がこの年登場。

**2001年(平成13年)**  
第28回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 38機。

**2002年(平成14年)**  
第29回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 47機。

**2003年(平成15年)**  
第30回北海道バルーンフェスティバル



新しいオフィシャルバルーンとして「ハロースマイルファミリー号」がこの年登場し、参加機数は55機に上った。ただ、最終日の10日には集中豪雨により町内で災害が発生するなど、多事多難な大会となつた。

**1989年(平成元年)**  
(第16回)89 北海道バルーンフェスティバル



この年から名称が北海道バルーンフェスティバルとなり、名実ともに北海道を代表するイベントに。参加機数は44機を数え、町のオフィシャルバルーンとして「上士幌号」がお目見えした。

**1990年(平成2年)**  
航空公園が三ヵ年事業で着工

**第6回熱気球日本選手権**

**第17回北海道バルーンフェスティバル**  
参加機数 43機。

**1991年(平成3年)**  
第18回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 51機。

**1992年(平成4年)**  
第19回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 72機。

**1993年(平成5年)**  
第20回北海道バルーンフェスティバル



参加機数 69機。この年に待望の熱気球基地の航空公園が完成。

**1994年(平成6年)**  
第21回北海道バルーンフェスティバル



参加機数は87機を数え、歴代の大會の中でも最大規模のイベントとなつた。

**1995年(平成7年)**  
第22回北海道バルーンフェスティバル  
参加機数 70機。着ぐるみのバルーン君とふわふわドームのエアキッドバルーン君がこの年デビュー。